

第 54 回未来医療セミナー

AMPK による細胞極性形成の分子機構

大阪大学大学院医学系研究科 分子心血管医学

高島 成二

AMPK (AMP dependent protein kinase) はストレス応答分子として、また糖脂質代謝を調整する酵素として、現在、最も注目されているリン酸化酵素の一つである。AMPK は全身のあらゆる臓器で多彩な生理作用を持つことが報告されており、臓器不全や代謝異常の治療標的としても注目をされている。一方で AMPK のこれらの生理作用を担う分子機構は未だ不明な点が多い。本セミナーでは、AMPK の新しい基質の同定と、それにより明らかになった AMPK の意外な分子生理機能について紹介する。



主催: 未来医療交流会

後援: 大阪大学医学部附属病院未来医療センター
文部科学省橋渡し研究支援推進プログラム
大阪大学「TR 実践のための戦略的高機能拠点整備」

連絡先: 未来医療交流会 (大阪大学医学部附属病院未来医療センター内)
Tel: 06-6879-6557, 6551, Fax: 06-6879-6538
E-mail: koryukai@hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp
<http://www.hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp/>

2010.5.26
18:00~19:00

大阪大学医学部附属病院外来棟 4F
カンファレンス室

